

令和元年度第2回「三重県2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
関連事業推進本部」会議概要

日 時：令和2年3月27日（金）9:15～9:30

場 所：県庁3F プレゼンテーションルーム

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会延期を受けて
部局長から、延期を受け、各事業への影響やその対応などを説明

辻国体・全国障害者スポーツ大会局長

- 聖火リレーについて、これまで進めてきた取組がほぼ全て中止となったことを踏まえて状況の収束・整理が必要となっている。また、聖火ランナー及び各市町に十分な説明を行っているところである。今後は国の方向性に沿う形で、県独自の取組を進めていきたい。
- 事前キャンプ地誘致については、3月23日にカナダの各チームに、「どんなことがあろうとも引き続き三重県は受け入れの態勢が整っている」旨の書簡を知事名で送り、市にも同様の対応を要請している。
- とこわか国体・とこわか大会について、東京オリ・パラと同年開始になることから、準備面では人材や資材などへの影響に配慮しつつ、東京オリ・パラの熱気をそのままとこわか国体・大会につなげていきたい。

村上雇用経済部長

- 東京オリ・パラ開催期間中に予定していた、三重テラスでの情報発信やイベントについては延期する。
- ホストタウンについては、7つの地域すべてを延期とするが、さらに準備期間が増えることをプラスに捉えて取組を充実させていきたい。
- 東京での応援村関係も含め、順次準備を進めていく形にしたい。

前田農林水産部長

- GAP等の認証食材の利用促進や首都圏ホテル等と連携した三重県フェアの開催や、産地視察、生産者等との商談会を実施してきた。
- 現時点において、大会組織委員会から、延期後の選手村への食材提供をどのように行っていくかの方針は出ていないが、今後も1品でも多くの県産食材を使ってもらえるよう、引き続き選手村での飲食事業者との連携を密にして、関連情報の収集に努めていきたい。
- 県産食材の生産者に聞き取りを行ったところ、1年程度の延期であれば、生産・在庫管理の再調整も可能であると確認した。

廣田教育長

- オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について、学校でのオリ・パラ教育は重要であるから、来年度に向けて気運をさらに高めていくために、関係機関と連携して対応していく。

大橋子ども・福祉部長

- パラリンピック競技について、全国大会や世界大会への出場を目指している身体障がい者選手に、理学療法士や競技指導者と一体となって作成した練習プログラムを提供し、これまでに支援した選手については東京オリ・パラに出場内定している選手もいる。
- 選手が、東京オリ・パラが延期されてもコンディションが維持できるよう、三重県在住の国内競技団体強化指定選手に対し、引き続き強化合宿や国内・国外の大会に参加する旅費の補助を行っていく。
- 東京オリ・パラ延期の影響について、障がい者スポーツ関係競技団体からの声を丁寧に聞き取り、その声を関係部局と共有し、とこわか国体・とこわか大会の日程や方針等に変更が生じた場合は速やかに情報提供することで、選手の育成計画に支障が生じないように努めていく。
- 障がい者の芸術・文化活動を支援するセンターを令和2年度に立ち上げる予定であり、とこわか大会や太平洋・島サミット等の機会を生かした文化プログラムに取り組む予定なので、このプログラムへの影響も注視していく。

河口観光局長

- 東京オリ・パラを三重県への誘客の絶好のチャンスと捉え、SNSやブランディング動画を活用し、本県の観光の魅力発信に取り組んできた。
- 開催までの延期を前向きにとらえ、今後観光地の魅力づくりをさらに充実させるとともに、開催時に一人でも多くの旅行者が三重を訪れるように、三重の魅力発信に引き続き取り組んでいく。

2 知事指示事項

- 部局長からは、非常に前向きな言葉だったので安心しているが、一方で、職員や関係者の中には、今まで準備してきたのに、また振り出しに戻ってしまったという思いを持っている方がいるかもしれない。
- しかし、オリ・パラは中止になったことはあっても、延期になったことはない。そういう意味では、前例のない形でチャンスが残った。そして、とこわか国体・とこわか大会と近接して実施されるので盛り上げに活用することができる、そういうふうな受け止めてもらいたい。

- これからやるべきことはたくさんあり、影響が出ることもたくさんあると思うが、暗くならず、いろいろな取組をできる期間が延びたのだと認識して、前向きな気持ちで是非取り組んでもらいたい。

(個別の指示事項)

1 事前キャンプ・ホストタウン

引き続き、三重県での実施あるいはおもてなしができるように、働きかけを行うこと

2 聖火リレー

三重県内を走行予定であった聖火ランナー184名の方の意向を尊重して、希望する方全員が、来年走行できるように、また、希望していた市町すべてに走行ルートを設定できるよう、働きかけること

3 三重県産食材のプロモーション

開催が延期されたことにより、プロモーションを実施できる期間が延びたことから、選手村への食材提供も含め、しっかりとプロモーションを行うこと

4 三重とこわか国体・とこわか大会

東京オリ・パラの熱気を両大会につなげていけるよう、広報計画や輸送計画等の抜本的な見直しについて検討すること

5 国や組織委員会等への要望

前例の無いオリ・パラの延期により財政的な影響も考えられることから、国に対して財政面における要望について検討すること

また、聖火リレー等の取組の決定にあたっては、地方の声を届けることのできる機会やしくみとなるよう国や組織委員会等へ要望すること

6 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

東京オリ・パラ関係での様々な活動に際しては、新型コロナウイルス感染拡大の防止を徹底すること

(最後に)

- 「オリ・パラの感動を再び三重で」というふうに、ピンチをチャンスに変え、バージョンアップできるように取り組むこと。

(以 上)